



厚生連だより
平成28年1月1日
第54号

発行
上野賀厚生農業協同組合連合会
上野賀総合病院
老人保健施設かみつが

編集
上野賀総合病院年報等編集委員会
〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033
TEL 0289-64-2161



病院屋上より望む日光連山

新年ご挨拶

上野賀厚生農業協同組合連合会
代表理事会長 黒本 一郎



平成二十八年の新春を迎え心よりお喜び申し上げます。
会員J A並びに関係機関の皆様には、日頃から厚生連の医療・保健・福祉事業運営にあたりまして、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

上野賀総合病院新病院建設は無事終了し、診療を開始して一年が経過しました。現在は、北側にヘリコプター離着陸施設を建設中です。本年三月完成予定です。このヘリポートは、周辺への音や風を配慮して地上から十二メートルのところの一辺が二十一メートルの正方形のヘリコプターの着陸帯を作って、建物の四階に接続するものです。このドクターヘリのランデブーポイント（救急車とヘリの合流地点）は、栃木県は五百六十八か所（うち鹿沼市は三十五か所）茨城県は千四百四十四か所あります。栃木県の救急医療の空の駅がもうすぐ完成します。

上野賀総合病院は、一次・二次救急病院、がん診療連携拠点病院、脳卒中地域拠点医療機関、

災害拠点病院等の使命を果たすために、ヘリポートをはじめ、MR（磁気共鳴断層撮影装置）やCT（コンピュータ断層撮影装置）、リニアック（放射線治療装置）といった高度診療機器を整備するとともに、診療・看護体制の充実強化等の病院診療体制も整備します。

さて、団塊世代が七十五歳以上の後期高齢者となる平成三十七年に向けて、今後ますます医療や介護の需要増大が見込まれます。医療も介護も、入所も通所も、ケアマネサービスも提供する老人保健施設かみつがに対する期待はますます大きくなっていくと思います。明るく安心できる高齢社会実現に向けて前進してまいりたいと考えております。

上野賀厚生連を取り巻く経営環境は厳しい状況にあります。厚生連の理念と役割を踏まえ、その責務をまっとうするべく、役員一体となり、上野賀総合病院、老人保健施設かみつが、訪問看護ステーションひばり、在宅介護支援センターかみつが、鹿沼中央地域包括支援センターの健全経営に努めてまいります。今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様におかれまして最良の年でありますよう、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

二〇一六年 新年を迎えて

上都賀総合病院
病院長 十川 康弘



平成二十八年、新たな年の初めにごあいさつを申し上げます。平成二十三年三月に着工した当院の建て替え工事は昨年八月に完成引き渡しを受けました。すでに皆様には美しいタイル張りの外壁に鮮やかな緑のJ Aと青の上都賀総合病院の表示、夜には遠くからも浮き上がる屋上サインが目に留まっています。初期計画後に起こった震災やドクターヘリの活躍を考慮した追加工事として北側駐車場に地上十五mのかさ上げ式ヘリポートを現在建設中で四月にはドクターヘリと栃木県防災ヘリが飛来することになります。毎年鹿沼市民の百人に一人が救急車で当院に搬送されています。一分一秒を争う病状の方の受け入れや他院への移送にヘリが威力を発揮して一人でも多くのいのちに貢献できることを期待します。また

この地域が被災地域になった場合は災害救助のよりどころになることもあるでしょう。

病院にはこれまでのところ様々な新築効果が現れています。ご利用いただいている患者さんの人数は十から二十%ほど増加しています。良好な療養環境を提供できるようになったことが大きな要因と想っています。建物だけでなく、CT、MRなどの最新検査機器や電子カルテなど医療情報の徹底した電子化などによって高度に専門的な医療を提供しています。市民の皆様にも多くの応援や励ましをいただき、産婦人科の再開や糖尿病センターの新設、医師や看護師の増員なども実現しています。

国内すべての地域で緩やかな人口減少の時代に突入しました。国はこれからの高齢化社会に向けて病院だけでなく診療所や療養介護施設が連携していく地域完結型医療を押し進める方針です。私たちも地域のあらゆる医療介護資源と連携して、地域で信頼される病院を目指してまいります。

新年の皆様のご健勝をお祈りいたします。

新年のご挨拶

老人保健施設かみつが
施設長 須田 啓一



明けましておめでとうございませう。超高齢社会の中で、この地域でのグループホーム、高齢者住宅の増加は目を見張るものがあります。そうした中で老人保健施設かみつが、その関連事業所を多くのご利用者がご利用いただいているのも、ひとえに皆様のご支援の賜物と感謝の念に堪えません。

老健かみつがは病院から自宅へ帰る方への支援を大きな柱としてきました。その方針はこれからも堅持しますが、一方で在宅復帰の困難な方々も沢山おられます。それらの方々にも、楽しく元気に過ごしてもらえよう職員一同心掛けていきます。在宅で生活している方々も、老健に対しリハビリ、レクリエーション、入浴、送迎時間、様々な要望があります。そうした希望に出来るだけ細やかに対応していきます。職員も地域に大きく目を開いていきますが、皆様からのご意見もとても大切であると考えています。

今年も引き続きご支援、ご鞭撻下さるようお願い致します。

インフルエンザについて

上都賀総合病院 薬劑部
院内感染対策チーム 野澤 彰



季節性インフルエンザは毎年冬になると流行します。三十八℃以上の高熱、のどの痛み、頭痛、関節痛、倦怠感など全身に症状があります。健康な成人は一週間程度で治りますが、高齢者や幼児が罹ると重症化し、死に至ることもあります。

インフルエンザを予防する方法に予防接種があります。インフルエンザワクチンは感染を完全に防ぐことはできませんが、発病や重症化を抑えることができますといわれています。また、妊婦においても、妊娠中にワクチンを接種すると、産後に母子双方をインフルエンザ発症から保護することが示されています。今シーズンのワクチンは昨年までのA型二種類とB型一種類にB型をもう一種類加え、計四種類の四価ワクチンになりました。そのため予防接種料金が値上がりしました。

インフルエンザは、インフルエンザに罹った方の咳やくしゃみなどの飛沫(ひまつ)が、直接または手などを介して口や鼻から入り、呼吸器系に感染します。そのためインフルエンザに罹ってしまった方は飛沫をばらまかないようにマスクを着用します。周囲の方はマスクを着用することに加えて手洗いをを行います。手を洗うことで環境に飛び散ったウイルスを含んだ飛沫を手から口へ運ぶことを防ぎます。もちろんアルコール手指消毒剤も有効です。痰などが手についた場合は流水と石けんで手を洗いましう。

インフルエンザに感染した方が他人へウイルスを伝播させる時期は、症状の出る一日前から症状が軽快してのちおよそ二日後までとなります。インフルエンザに罹ってしまった場合は、症状が軽快してから(たとえば熱が平熱に戻ってから)二日ほど経つまでは通勤や通学は控え、自宅で安静にすることを勧めます。

最後に、免疫力の低下は感染しやすい状態を作るため、偏らない十分な栄養や睡眠休息を十分とることがとても大事です。これは風邪やほかのウイルス感染に関しても同様です。コンディションを整えて健康な冬を過ごしましょう。

DMAT (ディーマツト)

上都賀総合病院
DMAT業務調整員 古澤 順



DMATとは、Disaster Medical Assistance Teamの略で災害発生直後の急性期(概ね四十八時間以内)に活動が開始できる機動性を持つ、専門的な研修・訓練を受けた災害派遣医療チームです。DMAT一隊の構成は、医師一名、看護師二名、業務調整員一名の四名が基本となります。

一九九五年一月十七日「阪神・淡路大震災」が起こり多数の死傷者が発生しました。この震災で初期医療体制の遅れが考えられ、平時の救急医療レベルの医療が提供されれば救命できたと考えられる「避けられた災害死」が五〇〇名あったと後に報告されました。また、この教訓を生かし全国に災害医療を担う災害拠点病院が設置(当院は平成八年十一月に指定)されるとともに、一人でも多くの命を助けようと厚生労働省に

より、二〇〇五年に災害医療を担う災害派遣医療チーム、日本DMATが発足しました。

当院は二〇一〇年二月に「日本DMAT隊員養成研修」を受講。一隊目が誕生し、二〇一五年十月現在では医師五名、看護師十二名、業務調整員五名となっています。主な活動は、被災した病院に支援に入る「病院支援活動」、災害救助現場での「現場活動や救護所活動」、被災地外に患者を搬送する「広域医療搬送活動」、避難された方々の健康管理をする「避難所活動」等があります。二〇一一年三月十一日東日本大震災では、県内の病院支援活動を行いました。これらの活動を円滑に行うため、日頃から多くの訓練に参加しています。「大規模地震時医療活動訓練」、「関東ブロックDMAT訓練」、「栃木県DMAT訓練」、「栃木県総合防災訓練」、「鹿沼市消防本部との合同訓練」などです。昨年十月五日には、多数傷病者発生を想定した「鹿沼市消防本部による集団救急救護訓練」が行われ、鹿沼市消防本部から派遣要請を受け、栃木県ドクターヘリ、獨協医科大学病院DMAT、

当院DMATも出動し合同で訓練に参加させていただきました。

さらに、昨年から「さつきマラソン」の救護所スタッフとして当院DMATスタッフが参加しております。救護スタッフの増員や救護所の増設等、救護所運営を強化する目的で、大会事務局、鹿沼市消防本部、医師会と連携し不測の事態に備えております。

活動の幅が広がれば、多くのDMATスタッフが必要となるため、継続してDMAT隊員の養成を行います。

今後益々関係機関と連携を強化し、局地災害から大規模な激甚災害まで対応できるよう日々活動してまいりますので、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



— 基本理念 —

— 地域社会への貢献 —

私たちは、地域住民の総合病院として保健・医療・福祉活動を介して、地域社会の発展に貢献します。

— 基本方針 —

- 一、患者さんの立場を尊重し、倫理・精神面へ配慮します。
- 一、安全な医療を確保し、患者さんに信頼される医療を行います。
- 一、常に、医療の質の向上に努めます。
- 一、患者さんと、より良いパートナーシップを築きます。
- 一、地域の基幹病院として、地域社会や医療機関と連携し、住民の健康増進に努めます。

— 患者さんの権利と責任 —

- 一、安全で適切な医療を公平に受ける権利
- 一、個人の人權が尊重され、プライバシーを保たれる権利
- 一、病気・検査・治療・見通しなどについて、説明を受ける権利
- 一、治療法の選択を尊重される権利
- 一、私たちと一緒に病気を治すことに協力していただくこと
- 一、患者さんの療養環境を守るため、病院の諸規則や社会的ルールを守っていただくこと



2015年10月5日獨協医科大学病院DMATと集団救急救護訓練にて



院内・敷地内は禁煙となっております。

職場紹介

事務部 総務課

総務課は、庶務係・人事給与係で組織され庶務係には車両・夜警・電話交換・セクレタリーの各担当が属します。人員は十九名(非常勤・委託を含む)体制となります。主な業務は、各種申請・届出、職員採用、給与等の支給、旅費の支給、福利厚生、文書処理、警備、電話交換、非常勤給与、渉外に関する事項等を行っております。また、臨床研修病院として初期研修医の募集活動及び実習・見学者の受入、初期研修医の側面支援を行っております。総務課は、今まで以上に患者様や地域の皆様、職員に対し、「気配り、目配り、心配り」の精神と、感謝と思いやりの心を持って接していくよう取り組んでまいります。



看護師奨学生募集

～ あなたの「学びたい」をサポートします ～

当院には、看護学生のみなさんの勉学を支えるための奨学金制度があります。

奨学金の返済については、卒業後当院にて看護師(貸与対象職種)として貸与期間に応じた期間を勤務していただいた場合、免除となります。

奨学金制度に興味・関心がある方は、随時ご相談に応じますので、下記までお気軽にお問合せ下さい。

〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033

かみつが厚生連 上都賀総合病院

担当：総務課(3321)

TEL0289-64-2161 FAX0289-64-2468

E-mail : soumu@kamituga-hp.or.jp URL : http://www.kamituga-hp.or.jp

当院患者支援センターでは医療ソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)が医療・福祉・介護に関するご相談をお受けしています。相談料はかかりませんのでお気軽にご相談下さい。

編集後記

上都賀総合病院にはいくつかのチームがあります。それらのチームは多職種で成り立っています。大きな病院ではこういったチームがフットワーク軽く動き回るのが難しいですが、上都賀総合病院は多職種チームが動くのにはちょうど良い組織ではないかという印象を持っています。チームのカンファレンスに出席すれば自分の知らないこと、あじまいたことが整理され、生きた知識となるように感じ、同じ現象を別の視点から見る必要性についても実感をもって再認識することがあります。しかし、このチーム活動は役に立っているのか?自己満足に終わっていないか?と不安になることもありません。そして結局より良い活動のためには他からの意見が必要だという結論に達します。他者からの批判は時に耳が痛く、受け入れたくない時もあります。これを直視してこのことが活動の質を上げることに繋がると考えたというわけです。

(高山 剛)

一般外来診療表

Table with columns: 診療科目, 受付時間, 備考. Lists various medical departments and their hours.

【休診日】日曜日・祝祭日・第2,4土曜日・創立記念日・年末年始

専門外来診療表

Table with columns: 診療内容, 担当診療科, 曜日, 受付時間. Lists specialized medical services.

※診療上の都合により変更になる場合がありますので、必ずご確認の上ご来院下さい。